

	No.	テーマ	内容	対象			時間
				一般	子供	高齢者	
遺跡について	1	発掘調査とはなんだ	道路や建物ができるときにおこなわれる発掘調査について、どうして遺跡がわかるか、どのように掘るか、何を記録しているかなど、発掘への疑問にお答えします。	○	○	○	45～90分
	2	金井東裏遺跡の最新情報	甲を着た古墳人の発見で注目を集めている渋川市の金井東裏遺跡。その発見のドラマや、今わかっていること、今後に期待されることなどをわかりやすくお話しします。	○	○	○	45～90分
	3	古墳王国 群馬	日本全国のなかでも古墳が多いことで知られている「古墳王国ぐんま」。どんな古墳が、どのようにあるのか、実態を紹介するとともに、なぜそんなに古墳が多いのか、その謎解きをお話しします。	○	○	○	45～90分
	4	女堀の謎を考える	中世の幕開けのころ、赤城山南麓に掘られた「女堀」。完成間近で中断された、謎の用水堀「女堀」の秘密に迫ります。	○		○	45～90分
	5	関東の華 前橋城	今、県庁があるところには、かつて関東の華と呼ばれた「前橋城」がありました。新庁舎建設のときにおこなわれた発掘調査でわかったことをお話しします。	○		○	45～90分
遺物について	6	旧石器研究は群馬から始まった	みどり市にある「岩宿遺跡」は日本の旧石器研究の原点です。これまでの発掘調査によって、県内各地の旧石器時代のこともわかってきました。最新の旧石器時代像について、やさしくお話しします。	○		○	45～90分
	7	縄文土器と弥生土器	昔の土器の代表といえば、縄文土器と弥生土器。その二つの土器の時期や作り方、使い方の違いを通して、原始古代の歴史を学びます。	○	○	○	45～90分
	8	埴輪からわかる古墳時代	「古墳王国ぐんま」では、多くの埴輪が出土します。その形や表現を紹介するとともに、埴輪からどんなことがわかるかをお話しします。	○	○	○	45～90分
教育利用について	9	教科書のなかの群馬の遺跡	教科書には、群馬県内の遺跡がのっています。歴史学習に欠かせないこれらの遺跡の重要性をやさしく解説します。	○		○	45～90分
	10	災害に備えるための遺跡学	発掘調査をすると噴火や地震・洪水などの自然災害の痕跡が見つかります。そこからは当時の生活や、復旧に向け尽力する人々の様子が見えてきます。これからの防災学習の貴重な資料となるこれらの災害考古学の成果をお話しします。	○		○	45～90分
保存処理について	11	木や金属の出土品の保存	発掘調査では、土器や石器のほかに、木や金属でできた出土品があります。これらは弱くて残りにくいことから、特別な作業が必要です。その保存処理の方法や技術をご紹介します。	○		○	45～90分